

サービスラーニングを振り返って

社会福祉学部社会福祉学科 2年 河嶋 志織

活動先：NPO 法人 だいこんの花

クラス：野尻 紀恵 先生

私がサービスラーニングの活動を行った NPO 法人だいこんの花は、大きな施設と違って少人数でその人らしさを大切に、地域との関わりも大切にしている NPO 法人である。私は、NPO の活動がどのようなものなのか興味があり、NPO の活動先の方がどのような思いで活動を行っているのかが気になりこの活動先ではそれが分かればいいなと思いながらサービスラーニングの活動を行った。私達は、だいこんの花でデイサービス、夏祭りの企画・運営、訪問介護の活動をさせていただいた。このサービスラーニングの活動を行って気づいたことがある。それは人との関わり大切さと企画大切さである。そして利用者主体の大切さである。サービスラーニングの活動を行う前は、お年寄りと関わる機会も少なく、自分たちで何かを企画して誰かに楽しんでもらうというのが初めてのことであったため、最初はとまどいの方が強く、利用者との関わり方が分からず、もっと積極的に利用者に関わりなさいと言われてもどうしたらいいのか分からなかった。そしてなかなか利用者との溶け込むことができなかった。そして、訪問介護はどのような仕事なのか見たこともなかった。イメージがわからなかった。

企画に関しても夏祭りを私達学生が企画したが、何のための企画なのか、誰のための企画なのか、目的や目標を明確にできず、この自分達が企画した夏祭りをとにかく成功させなくてはという気持ちのほうが強かった。そのため、夏祭りの内容もなかなか決まらず夏祭り前日まで作業がかかってしまった。夏祭りも利用者には楽しんでもらえたが、企画自体が不十分だったため夏祭りの内容が去年と代わり映えが無く、企画不足となってしまった。私達は、経験不足だった。自分達は今まで利用者側であったが企画を立てる側になって目的や目標があることを知った。誰のために行う企画かということで企画は異なり、また相手のことを知り、企画するということは大切で、その人の支援に直接繋がると考えた。6日間の活動の中で、私達はデイサービスの利用者と共に主に関わり、日によって変わる利用者の名前、顔を覚えるのも大変だったが、一人一人と関わる大変さ、皆を巻き込んで利用者に関わる難しさを痛感した。自然と会話の中で話題を引き出しながらの関わりや交流が私の中では一番難しく、勉強になった。

訪問介護では、デイサービスの仕事とは全く違い、最初は人の家に上がって家事や食事の用意をすることに少し抵抗があったが、訪問介護がなければ一人で生活できないとか、寝たきりで訪問介護がなければ一人で動くこともできない人などがおられるという事実から訪問介護の仕事に同行させてもらってこの仕事の重要さや大切さに気づくことができた。この仕事がないと住み慣れた自分の家で住み続けることができない人がたくさんいるとい

うことも改めて気づく事ができたので訪問介護に同行させてもらえてよかったなと思う。

企画についてはサービスマーケティングの活動が終わった後にだいこんの花にインタビューに行き、私がサービスマーケティングの活動に行く前に知りたかったことをたくさん教えていただいた。だいこんの花の活動先の皆様は、ほんとに利用者主体で企画に対しても目的・目標をしっかりとって企画をしていたので、企画にぶれがなく利用者が楽しめてなおかつ、利用者の安全確保もして能力低下を防ぐ企画・レクリエーションを考えているのはすごいことだし、利用者のことを本当に考えなければできないことだなと考えた。

このサービスマーケティングの活動を行って相手のことを考えながら物事を考える力がすこしは付いたのではないかなと思うし、それが自分の成長したところではないかなと考えた。

NPOの地域活動や社会活動は、私達は企画について研究して企画が地域と社会と深く関わることが分かった。NPOの企画を通して地域の中で顔見知りになれることで地域との交流ができたり、障害者の方だったらバリアフリーがない駅にわざわざ車椅子で行き、車椅子の人も駅を利用するという話をしたり、地域のお祭りに出向いたり、お祭りに利用者の作った作品を展示したり、地域の人を巻き込んでお祭りやイベントをしたりとNPOと企画は切っても切れないものである。利用者の育った環境に似た場所で過ごしていただくことも、地域という空間を拠点として活動しているということも地域・社会に深く関わっていて、こんなに地域・社会と関われるのはNPO法人だからこそだと考えた。

NPOと企画とは地域の人たちを巻き込んだ利用者主体で、地域との交流をするもので地域と利用者のことを考え「輪」を作るものだと思われ私達は考えた。NPO法人の施設内だけで、できることを地域単位まで広げるといことは、NPOが地域との関わりを大切にしているのである。

最後に、サービスマーケティングの活動は私にとって初めての体験・経験ばかりで失敗や、反省点ばかりで活動先のスタッフの皆様にも大変ご迷惑をおかけしたと思うが、私はサービスマーケティングの活動を行ってよかったと思っているし、貴重な体験ができたなと思う。普段できない体験ができ将来のことを考えるきっかけになった。そして、活動先の皆様にはたくさんのお話を教えていただき、学校の授業では教わらないことをたくさん教えていただいて、いい勉強にもなった。大変なことが多かったが、利用者の笑顔をたくさん見ることができ、達成感を得ることができた。それが、活動の中で一番よかった。

NPOがどのような活動をして、どのような思いで活動しているのかもしっかりと知ることができた。自分の中でNPO法人のイメージが変わった。他のNPO法人のこともこの活動を通して知りたいと思った。この体験を生かし、3年生の実習と将来に役立てていきたいなと思う。この活動のいいところ、悪いところを次の実習に繋げていきたいと決意を新たにしている。そして、来年の2年生でサービスマーケティングに行く後輩たちにも、この基調な経験を具体的に伝えていきたいと思う。